

## 総務文教常任委員会会議記録

【開催日】 平成26年11月19日(木)

【開催場所】 第一委員会室

【開会・散会時間】 午後4時～午後5時11分

【休憩時間】

【出席委員】

委員長	河野 朋子	副委員長	中村 博行
委員	伊藤 實	委員	岡山 明
委員	笹木 慶之	委員	福田 勝政
委員	山田 伸幸		

【欠席委員】 なし

【委員外議員等】

議長	尾山 信義		
----	-------	--	--

【執行部出席者】

総合政策部長	堀川 順生	企画課長	芳司 修重
企画課企画係長	杉山 洋子	企画課行革推進係長	別府 隆行

【事務局出席者】

局長	古川 博三	議事係長	田尾 忠久
----	-------	------	-------

【付議事項】

1 転入促進事業及び若者交流推進事業の現状について

【議事の概要】

- ・人口定住促進対策に関する転入促進事業及び若者交流推進事業の現状について所管事務調査を行った。
- ・まず若者交流促進事業の平成26年度の実施状況について杉山企画係長から説明があった。詳細については、資料1(若者交流推進事業)のとおり。
- ・各委員からの質疑を受ける。
- ・山田伸幸委員から「参加者のリピーターの状況は」の問いに「女性のリピーターは少ないが、男性は4人の方がずっと参加している」と回答があった。
- ・伊藤実委員から「推進委員の公募には、何人の応募があったのか」の問いに「5名の応募で全員推進委員となった」と回答があった。
- ・伊藤実委員から「推進委員の年齢は」の問いに「全員60代」と回答があった。

- ・伊藤實委員から「推進委員の住所は」の問いに対して「山陽地区の方が2人、小野田地区の方が3人」と回答があった。
- ・山田伸幸委員から「企画に参加者が満足しているか」の問いに「アンケート結果からほぼ満足されている」旨の回答があった。
- ・伊藤實委員から「推進委員会の開催度合いについて」の問いに「毎月1回」と回答があった。
- ・伊藤實委員から「連絡先交換希望件数の男女比は」の問いに「男性のほうが多い」と回答があった。
- ・伊藤實委員から「第6回は参加人数とアンケート結果の人数が合わない」の問いに「ヒメボタル観賞のため外だったので回収しそびれた」と回答があった。
- ・伊藤實委員から「食事は飲酒があるのか」の問いに「ない」と回答があった。
- ・伊藤實委員から「飲酒をしない理由は」の問いに「節度を保ちたい」旨の回答があった。
- ・伊藤實委員から「参加者の市内外の比率は」の問いに「市内63名のうち男性37名、女性26名、市外38名のうち男性23名、女性15名」と回答があった。
- ・伊藤實委員から「第9回の長門市まで行った理由は」の問いに「美祢線を使ったイベントにしたかった」と回答があった。
- ・中村博行副委員長から「議会報告会での市民の意見の中で、ストーキングのうわさがあるが」の問いに「初耳である。情報交換は市を通して行っている」旨の回答があった。
- ・中村博行副委員長から「アンケート結果では、つまらなかったが0人だが、議会報告会では二度と参加したくないという人がいたが」の問いに「アンケートは無記名であり、実際の気持ちを書きづらいとは考えていない」旨の回答があった。
- ・岡山明委員から「業者委託は考えているか」の問いに「現在の形で継続していきたい」旨の回答があった。
- ・山田伸幸委員から「事務局の感想は」の問いに「参加者が消極的なきらいがある」旨の回答があった。
- ・河野朋子委員長から「主体は推進委員か」の問いに「推進委員である」旨の回答があった。
- ・山田伸幸委員から「次の企画はこういうふうにしてほしい旨のアンケートはとらないのか」の問いに「アンケートの項目は設けている」旨の回答があった。
- ・河野朋子委員長から「職員は何人かかわっているか」の問いに「2人から3人である」と回答があった。
- ・河野朋子委員長から企画課の職員がこの事業にかかわりすぎて、本来の業務ができてないのではないかと指摘があった。
- ・笹木慶之委員から「参加者の年齢は」の問いに「参加者154人のうち20代が41人、30代が59人、40代が53人、50代が1人」との回答があった。
- ・笹木慶之委員から「男女別は」の問いに「男性94人のうち20代が15名、30代が41名、40代が37名、50代が1名。女性60名のうち20代が26名、30代が18名、40代が16名」との回答があった。

- ・笹木慶之委員から「連絡先交換希望件数のうち成立件数は」の問いに「三、四件である」旨の回答があった。
- ・中村博行副委員長から「市内に業者はあるのか」との問いに「1社ある」旨の回答があった。
- ・山田伸幸委員から「市内外の業者の開催状況を見ているか」との問いに「ない」旨の回答があった。

・次に転入促進事業の平成26年度の実施状況について別府行政改革係長から説明があった。詳細については、資料2(転入奨励金事業)のとおり。

- ・各委員からの質疑を受ける。
- ・伊藤實委員から「アンケート結果を各課で利用できているか」との問いに「していない」旨の回答があった。
- ・伊藤實委員から「転出する人の調査をしているか」との問いに「していない」旨の回答があった。
- ・河野朋子委員長から「前年度から改善している点があるか」との問いに「周知の方法を改善した。県内の住宅展示場にチラシを配布した」旨の回答があった。
- ・伊藤實委員から「市長は第二弾、第三弾の施策を明言したが現時点ではないのか」との問いに「現段階ではない」旨の回答があった。
- ・中村博行副委員長から「具体的なメリットはどういうところに出てきているか」との問いに「人口の減少傾向に歯どめがかかるのがメリット」という旨の回答があった。
- ・伊藤實委員から人口の流出をとめる施策が必要との指摘があった。

平成26年(2014年)11月19日

総務文教常任委員長 河野朋子

## 総務文教常任委員会審査日程

日 時 平成26年11月19日(木)

午後4時

場 所 第1委員会室

～審査内容～

1. 転入促進事業及び若者交流推進事業の現状について

## 平成26年度若者交流推進事業

## 1 山陽小野田市若者交流推進委員会体制

会 長：市長

副会長：公募委員（女性）1名

監 事：公募委員（女性）1名

委 員：公募委員（男性）2名

公募委員（女性）1名

事務局：企画課

## 2 若者交流推進事業実施状況

## ◎第5回

実施日	平成26年4月27日（日）10時30分～15時00分
場所	きららガラス未来館、きらら交流館
内容	ジェルキャンドルづくり体験、1対1のトーク、フリートーク
参加人数	22人（男性11人、女性11人）
参加費	3,000円
アンケート結果	楽しかった15人、まあまあ良かった7人、つまらなかった0人
連絡先交換希望件数	7件

## ◎第6回

実施日	平成26年6月7日（土）18時00分～21時00分
場所	ソルポニエンテ（ビュッフェ形式の食事）、竜王山（ヒメボタル観賞）
内容	食事をしながらの交流会、ヒメボタル観賞。
参加人数	29人（男性17人、女性12人）
参加費	3,000円
アンケート結果	楽しかった17人、まあまあ良かった10人、つまらなかった0人
連絡先交換希望件数	6件

## ◎第7回

実施日	平成26年7月6日（日）11時00分～14時00分
場所	江汐公園
内容	バーベキュー、1対1のトーク、フリートーク
参加人数	21人（男性12人、女性9人）
参加費	2,000円
アンケート結果	楽しかった11人、まあまあ良かった10人、つまらなかった0人
連絡先交換希望件数	15件

◎第8回中止

実施日	平成26年8月16日(土) 10時30分～14時30分
場所	山陽オートレース場(ハイビジョンホール3階)
内容	オート観戦、交流会
参加費	2,000円
中止理由	応募者の男女比のバランスが取れないため

◎第9回

実施日	平成26年9月28日(日) 10時00分～16時40分
場所	湯本観光ホテル西京(長門市)
内容	湯本温泉で食事や交流会(フリートーク、ボウリング)
参加人数	17人(男性13人、女性4人)
参加費	3,000円
アンケート結果	楽しかった10人、まあまあ良かった7人、つまらなかった0人
連絡先交換希望件数	12件

◎第10回

実施日	平成26年10月25日(土) 11時00分～14時30分
場所	小野田セメント山手倶楽部
内容	山手倶楽部で音楽鑑賞・交流会、住吉神社散策
参加人数	12人(男性7人、女性5人)
参加費	2,000円
アンケート結果	楽しかった10人、まあまあ良かった2人、つまらなかった0人
連絡先交換希望件数	9件

○平成26年度(11月現在) 開催回数 5回

参加人数 101人(男性60人、女性41人)

## 平成26年度

## 転入奨励金交付実績

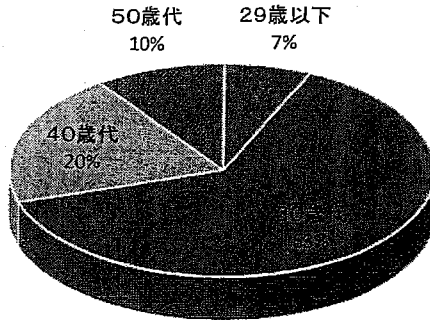
H24年度 支給開始 (3回目)	新築	2	125,000
	中古	0	0
	計	2	125,000
H25年度 支給開始 (2回目)	新築	21	1,277,700
	中古	5	134,100
	計	26	1,411,800
H26年度 支給開始 (1回目)	新築	26	1,525,100
	中古	6	242,200
	計	32	1,767,300
合 計		60	3,304,100

# 平成26年度転入奨励金該当者アンケート

問1 はじめに、ご回答いただく方についてお尋ねします。番号に○印をつけてください。

ア) 年齢

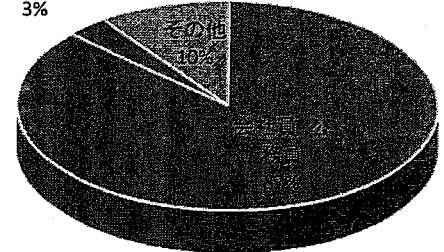
1. 29歳以下	2
2. 30歳代	19
3. 40歳代	6
4. 50歳代	3
5. 60歳代	0
6. 70歳以上	0



イ) 職業

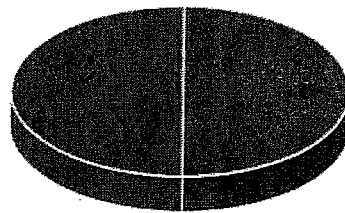
1. 会社員・公務員	26
2. 自営業（飲食業・サービス業）	1
3. 自営業（製造業・建設業）	0
4. 自営業（農林水産業）	0
5. その他	3

飲食・サービス業  
3%



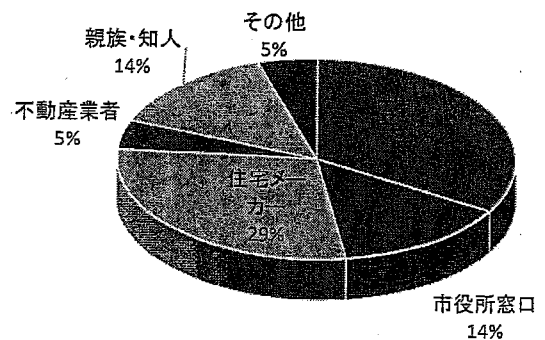
問2 転入される前に、山陽小野田市の転入奨励金制度をご存じでしたか。

1. はい	15
2. いいえ	15



問3 転入奨励金制度をどこで知りましたか。番号に○印をつけてください。

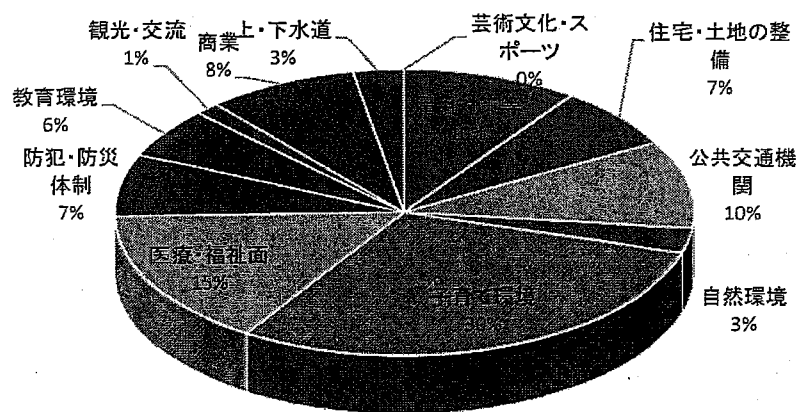
1. 市広報・市ホームページ	7
2. 市役所窓口（転入手続窓口等）	3
3. 住宅メーカー	6
4. 不動産業者	1
5. 新聞	0
6. 親族・知人	3
7. その他	1





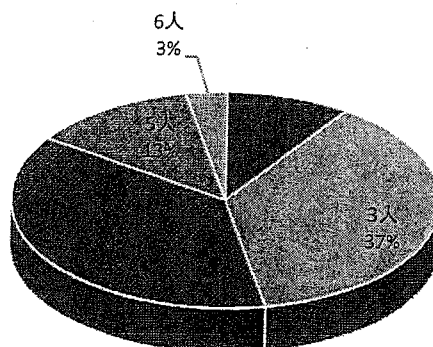
問5 山陽小野田市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか。  
 次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

1. 雇用対策・起業家支援	7
2. 良質な住宅・土地の整備	5
3. 公共交通機関の充実	7
4. 良好な自然環境の保全	2
5. 子育て環境の充実	21
6. 医療や福祉面の充実	11
7. 防犯・防災体制の充実	5
8. 学校などの教育環境の充実	4
9. 観光・交流の充実	1
10. 商業のにぎわいの創出	6
11. 上・下水道の整備	2
12. 芸術文化・スポーツの振興	0
13. その他	0



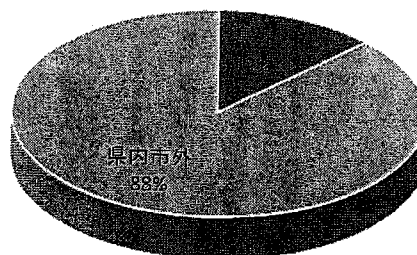
その他 転入世帯の家族構成

1人世帯	0
2人世帯	3
3人世帯	12
4人世帯	12
5人世帯	4
6人世帯	1
7人世帯	0
8人世帯	0
9人世帯	0
世帯数	32
人数	116



前住地

宇部市	23
美祢市	3
山口市	1
下関市	1
岡山県	1
神奈川県	2
東京都	1



**転入者の内訳**

		年齢階層別		年代別	
H24年度	33	年少人口	8	～9歳	8
				10代	0
				20代	5
		生産年齢人口	21	30代	8
				40代	6
				50代	1
		老年人口	4	60代	2
				70代	3
80歳～	0				
H25年度	186	年少人口	71	～9歳	66
				10代	7
				20代	18
		生産年齢人口	110	30代	62
				40代	15
				50代	5
		老年人口	5	60代	11
				70代	2
80歳～	0				
H26年度	116	年少人口	40	～9歳	38
				10代	9
				20代	6
		生産年齢人口	75	30代	41
				40代	15
				50代	5
		老年人口	1	60代	2
				70代	0
80歳～	0				